



# 皆龍寺報 とびら

2019年1月1日(火)発行

## 第38号

真宗大谷派 皆龍寺  
山形市大字門伝100  
TEL 023(643)3037

これは『日本が売られる』の著者、堤 未果さんの言葉。現代の風潮を見事にとらえた言葉に身震いを覚えた。「今」はとても大事なこと。何故なら、未来に素晴らしい世界を残したいから。決して「今だけ」良ければいいわけではない。現代において「カネ」がなければ生活はできない社会になっている。しかし「カネだけ」あれば豊かな生活と言えるのだろうか。「自分」というものはとても大切なものだ。でもそれは「自分だけ」でいきているのではない。私たちは、自然の恵みに生かされ、互いに助け合い協力しあって生きているのだ。そして誰かの為になるから「自分」は大切なのだ。

「アメリカファースト」という言葉が流行語大賞に選ばれてもいい程、世界では「自分ファースト」という考え方が広まっているように感じる。

## 今だけ カネだけ 自分だけ

### 二十一世紀という時代(十三)

これは『日本が売られる』の著者、堤 未果さんの言葉。現代の風潮を見事にとらえた言葉に身震いを覚えた。「今」はとても大事なこと。何故なら、未来に素晴らしい世界を残したいから。決して「今だけ」良ければいいわけではない。現代において「カネ」がなければ生活はできない社会になっている。しかし「カネだけ」あれば豊かな生活と言えるのだろうか。「自分」というものはとても大切なものだ。でもそれは「自分だけ」でいきているのではない。私たちは、自然の恵みに生かされ、互いに助け合い協力しあって生きているのだ。そして誰かの為になるから「自分」は大切なのだ。

「アメリカファースト」という言葉が流行語大賞に選ばれてもいい程、世界では「自分ファースト」という考え方が広まっているように感じる。

住職 記

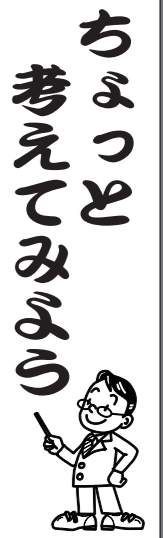
2019年(平成31年)

## 皆龍寺年間行事

1月25日 (11時~13時)	お講	【お当番 皆龍寺】
2月25日 (11時~13時)	お講	【お当番 皆龍寺】
3月25日 (11時~13時)	お講	【お当番 皆龍寺】
4月13日 (10時~15時)	永代経	【お当番 悪戸組】
5月25日 (11時~13時)	お講	【お当番 門伝上中組】
6月25日 (11時~13時)	お講	【お当番 門伝下新屋敷組】
7月25日 (11時~13時)	お講	【お当番 皆龍寺】
8月13~15日	孟蘭盆会	
9月25日 (11時~13時)	お講	【お当番 荻ノ窪組】
10月25日 (11時~13時)	お講	【お当番 村木沢組】
11月13日 (10時~15時)	報恩講	【お当番 新屋敷・柏倉組】
12月31日	除夜の鐘	修正会

## 後記

昨年 冬の北陸豪雪に始まり、7月の西日本豪雨、そして北海道胆振東部地震と災害が多かったように思います。方丈記によれば、親鸞聖人が得度した1811年、京都で4万3千2百人の死者を出した養和の大飢饉が起ったそうです。地質調査によればさらには1200年頃、南海トラフ地震が発生した可能性もあるようです。当時の仏教徒は災害にどう向き合っていたのでしょうか。 副住職 記



### 教育には「驚き」と「なぜ」が必要

堤 先生は、いまの教育には「なぜ」と「驚き」が減っているとおっしゃってましたね。

佐治 教育には、まず「なぜ？」と疑問を持つことが大切です。

たとえば「一人にみかんを二個ずつ、三人の人にあげるには、みかんは全部でいくついるでしょう」という問題。普通は「 $2 \times 3 = 6$ 」という式で答えをだしますが、ある子は「 $3 \times 2 = 6$ 」と書いてバツになり、それが原因で登校拒否になってしまったという例があります。

そこで「どうして $3 \times 2$ にしたの？」訊いたところ、「みかんを二つずつあげるのに、A君、B君

C君が待ち遠しいといけなから、とりあえず一人に一個ずつあげた。それを二回繰り返したから、 $3 \times 2$ の式にした」といいます。やさしい子でしょう。それが学校では間違いとして処理されてしまった。プロセスというのは、考え方の道すじで、それが正しければそれはそれでいいのです。

△ 中略 △

佐治 科学は、「驚き」と「なぜ」です。しかし「なぜ」と問う前に「驚き」がないと科学にならない。いまの親御さんたちは「なぜ」に

最初に答えてしまいます。

たとえば、きれいな虹を見たときは「わあ、きれいだね」とまず驚いてほしい。それが教育。教育というものは子どもの「なぜ」に火をつけることです。本当にいい先生というのは、懇切丁寧に身の解答をそのまま教えることではなく、子どもの心に灯をつけることだと思えます。灯がともれば、ひとりでも燃え続けます。

『人はなぜ、同じ過ちを繰り返すのか？』  
(清流出版)より

## 皆龍寺 女のつどいの活動

女のつどいでは様々な活動をしています。主な活動にお磨きや永代経・報恩講のお齋の下準備があります。

仏具のお磨きは、もう慣れたもので1時間で終わってしまいます。

また、お齋の下準備もありますが、とても好評で、特に银杏御飯は、評判が良い為、他寺でもされるようになりました。ぜひ、ご参加ください。美味しいお菓子が待っています。年間費は五千円で30人ほどがつどっています。

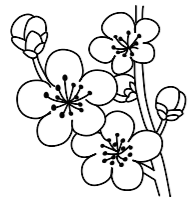
坊守 記

## 皆龍寺サンガスクール 活動報告

昨年の3月に築地本願寺参拝とデイズニールランドへ、8月には京都で東本願寺同朋シユニア大会(3泊4日)に参加し、がんばったごほうびにユニバーサルスタジオリヤパへ行ってきました。

東本願寺では、親鸞聖人の御真影の前で17名全員が帰敬式を受け、ほとけの子として生きるちかいを立ててきました。今も正信偈が自然と浮かんでくるそうです。

坊守 記



## ホームページ作りしました

この度、簡易的に皆龍寺ホームページを作成・公開致しました。法語や法話を読めたり、皆龍寺の行事予定を確認できます。また、一部ではありますが皆龍寺蔵書の検索もできます。インターネット環境のある方は是非覗いてみてください。スマートフォンからも閲覧できます。随時更新予定です。



QRコード



ホームページ

<http://kairyuji.mydns.jp/> または

皆龍寺 人生の道しるべ

Google検索